



株価大暴落で儲けるヘッジファンド

株価大暴落

アベノミクスで株価が上がっていたが、五月二三日、一一四三円の大暴落。ほんの少し盛り返したが、三〇日には七三七円安。結局、五月の株価上昇分は一週間で消えた。

实体经济は

アベノミクスで株価が上がったのは「景気が良くなるだろう。良くなれば株も上がるだろう」と云う期待感から。でも、企業はマンション等海外へ生産拠点を移そうと画策するばかり。日本国内の設備投資は増えない。求人も増えない。そればかりか、リストラで人減らしの話ばかり。つまり、アベノミクスと云っても、实体经济は全く良くなっていないのだ。

でも「株価が上昇するかも知れない」期待があると・・・

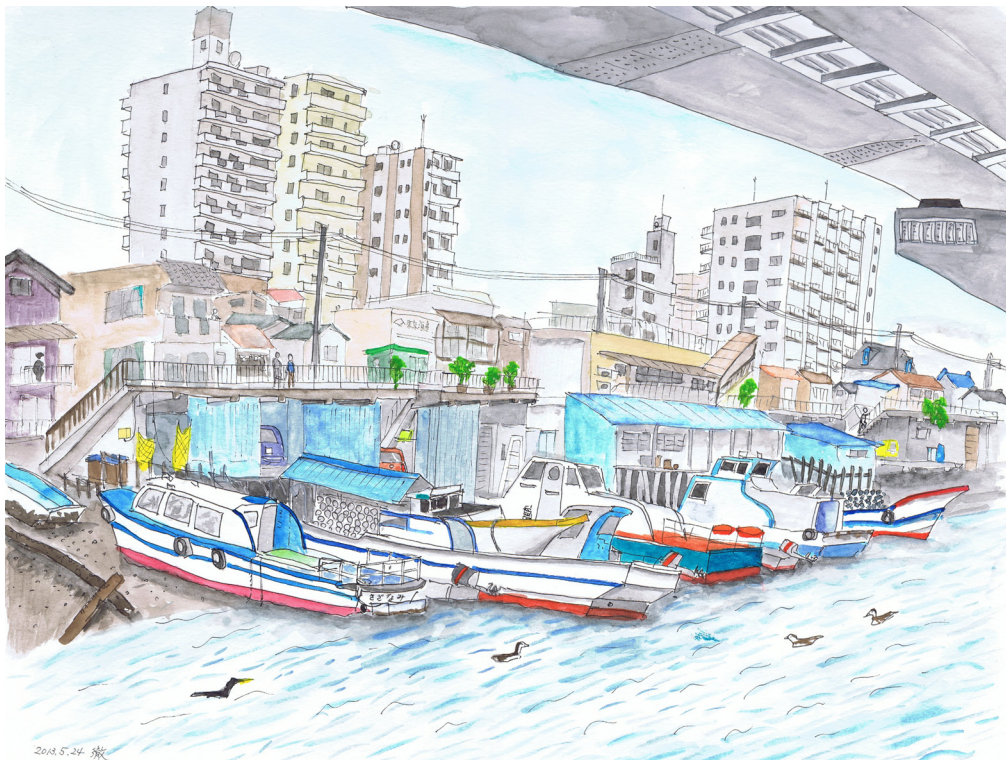
儲けるからくり

ヘッジファンドは空売りをする。株を持っていないが時価で売る。「その株が値上がりすれば儲かる」と思って買う人がいる。ヘッジファンドは買った人に数日後にその株を渡す。そこで、株が暴落すると、売値より安く株を買って渡す。かくして、大儲け。

だから、ヘッジファンドは何時「株の大暴落」を仕掛けようかと虎視眈々。今回は中国の景気が問題とされたが、何でも良いのだ。景気は良くなるはず、儲けたのはヘッジファンドだけというマネーゲームだ。皆さんはどう思われますか？

子安運河

横浜市



京浜急行の神奈川新町駅前、国道十六号を渡ると、すぐ子安浜。幅五十メートルの子安運河を隔てて新浦島町。明治から大正にかけて埋め立てられた。

今は、高層マンションや、テクノウェイブという十八階建てのオフィスビルが建っている。その辺りから、子安の漁港。昔の子安浜を眺めた。

東京湾は穴子の宝庫。プラスチックのパイプで作った罟を何十本も海底に沈める。中の餌を求めて入った穴子は二度と出られない。

パイプを沢山積んだ漁船はその穴子漁の船。思い思いの時間に漁に出るのだろう。絵を描いている間にも、出て行く漁船があった。運河の上には首都高速横浜線。

それでも漁業を逞しく続ける人々がいる。